Kyutech
Kyushu Institute of Technology

国立大学法人　九州工業大学

第53回 歯工学連携講演会

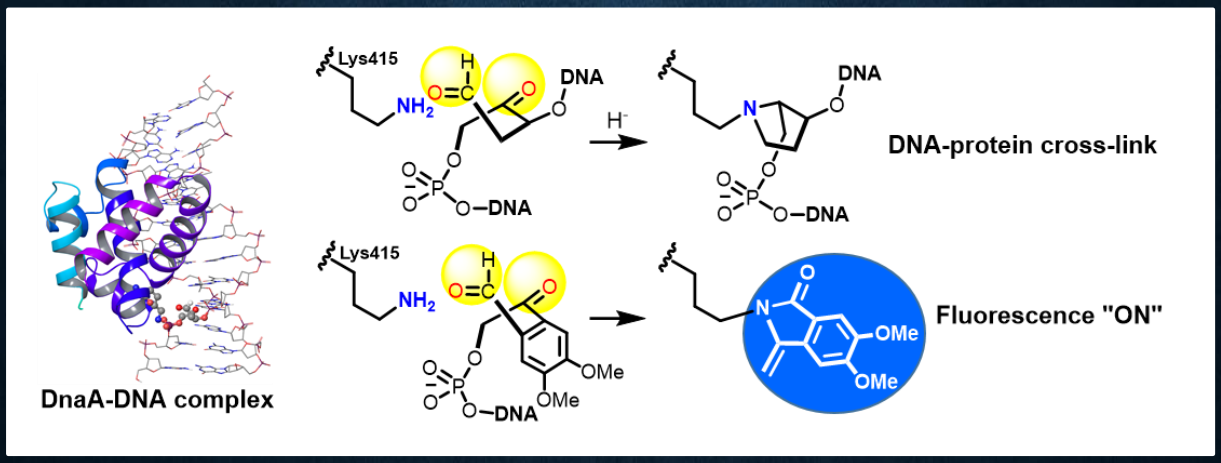
反応性核酸を利用した蛋白質部位特異的リジン修飾と蛋白質研究への応用

麻生真理子

九州大学大学院薬学研究院　准教授

日　時：　2018年1月11日(木) 16:20-17:20
場　所：　九州工業大学戸畑キャンパス
教育研究8号棟8-1A講義室

リジン残基は蛋白質中多く存在し、酵素の活性発現、蛋白質翻訳後修飾、蛋白質核酸相互作用などに関わっています。麻生先生は酸化損傷により糖部にジカルボニル基が導入されたDNAが、効率よくアミノ基を修飾することを見出しました。この反応を利用すれば、リジン修飾を手掛かりとした蛋白質研究が可能になると期待されます。彼女は、蛋白質核酸クロスリンク形成、近接リジン残基の蛍光修飾に有用なジカルボニル核酸を開発されています。ここではここでの成果を紹介していただきます。



問い合わせ先：九州工業大学 工学研究院　竹中（093-884-3322）